

## イスラエル・ガザ紛争に関する「ガザへのイスラエルによるジェノサイドに抗議する」声明

**イスラエル・ガザ紛争に対して即時の休戦を求めるよう日本政府に要望します！**

2023年11月10日

国際婦人年連絡会

パレスチナのイスラム組織ハマスは10月7日にイスラエルに対して攻撃を開始し、この攻撃を受けてイスラエル軍はガザの空爆を開始しました。2006年以降イスラエルが部分閉鎖していたガザ地区を完全封鎖し、食糧・水・エネルギーなど生活必需品の供給を遮断し、空爆を続けています。難民キャンプまでも空爆し、これはガザに住むパレスチナ人全員に対するジェノサイドであり、国際人道法違反です。

これを受け、国連総会で10月27日にイスラエル軍とハマスの軍事衝突をめぐる緊急特別会合が開かれ、ヨルダンが取りまとめた人道目的の休戦と人道支援物資のガザ地区への搬入を求める採決が行われましたが、121か国の賛成で採択されたものの、アメリカやイスラエルは反対し、日本は棄権しました。

イスラエルのガザへの空爆開始以降、パレスチナ側の死者は女性や子供を含め10,000人を超えています。

ハマスのイスラエルへの軍事侵攻は許されるものではないものの、イスラエルのジェノサイドと言える行為は国際人道法違反であり、ただちに休戦もしくは停戦を求めるべきです。

日本政府には、イスラエル・ガザ紛争に対して即時の休戦を求め、外交手腕を生かした仲裁を行うよう要望します。